

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：べたがけ栽培における3月どりレタスの優良品種の選定（第72回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕レタス「L20T304」、「L20T307」、「Fブロウ」は、3月どりのべたがけ栽培に適する優良品種である。いずれの品種も球が大きく、厳寒期の肥大性に優れる。特に「L20T304」「L20T307」は大玉で加工・業務用への適性が高い。			
キーワード レタス、べたがけ栽培、品種審査会、低温肥大性			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・花き研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、 安房農業協同組合神戸支店、安房農業事務所、生産振興課	
実施期間	2024年度		

〔目的及び背景〕

千葉県におけるレタスの作付面積は462ha、産出額は17億円でいずれも全国第11位である（令和3年産野菜生産出荷統計及び令和3年産産農業所得統計）。結球レタスでは、主に南房総地域の水田において、12月から3月に出荷するトンネル栽培が行われている。近年の温暖化により、3月どりではトンネル栽培に代わり、べたがけ栽培の導入が進んでおり、低温期の肥大性及び在圃性に優れ、形状が良好で収量性の高い品種が求められている。そこで、3月上旬収穫のべたがけ栽培において、本県に適した優良品種の選定を行う。

なお、本課題は第72回千葉県野菜品種審査会として実施する。

〔成果内容〕

- 1 栽培期間を通して気温は平年より高く推移し（図1）、球が大きく、緊度が高い状態での審査となった。一方で、2月下旬と3月上旬の急激な気温の低下により、収穫時にはすべての品種で凍害が認められたが、品種間差は無かった。また、12月上旬から2月下旬は降水量が少なく、乾燥状態が続いた（図2、3）。
- 2 第72回千葉県野菜品種審査会（レタスの部）において審査した12品種のうち、入賞となった品種は「L20T304」、「L20T307」（以上、住化農業資材（株））、「Fブロウ」（タキイ種苗（株））の3品種である（表1）。
- 3 播種15日後におけるセルトレイでの出芽率は、出品番号1が89%、それ以外は90%以上で良好である（表2）。
- 4 入賞品種はいずれも収穫時の球径が大きく、調整重は600g以上である（表3）。また、やや扁平な形で形状が良い（写真1）。特に、1位入賞の「L20T304」及び2位入賞の「L20T307」は大玉で加工・業務用に適した品種である。

[留意事項]

[普及対象地域]

南房総地域を中心とした県内のレタス生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

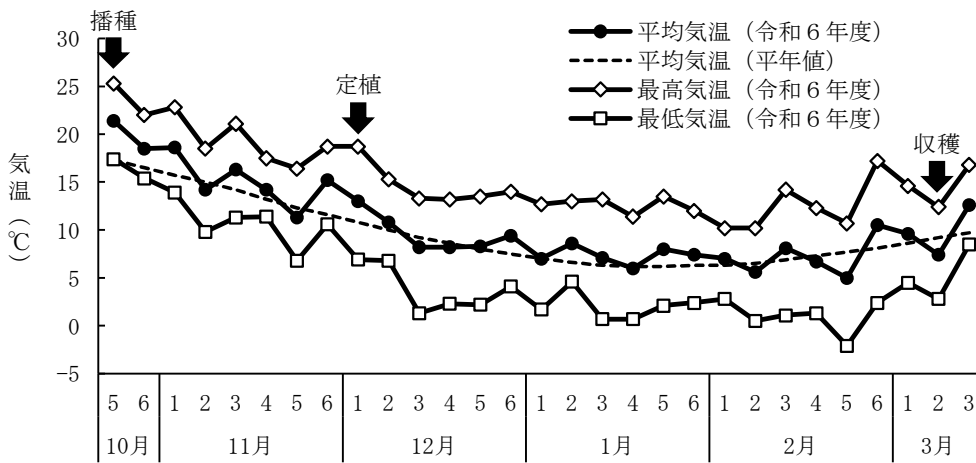


図1 栽培期間中の半旬別平均気温、最高気温及び最低気温(館山観測所アメダスデータ)

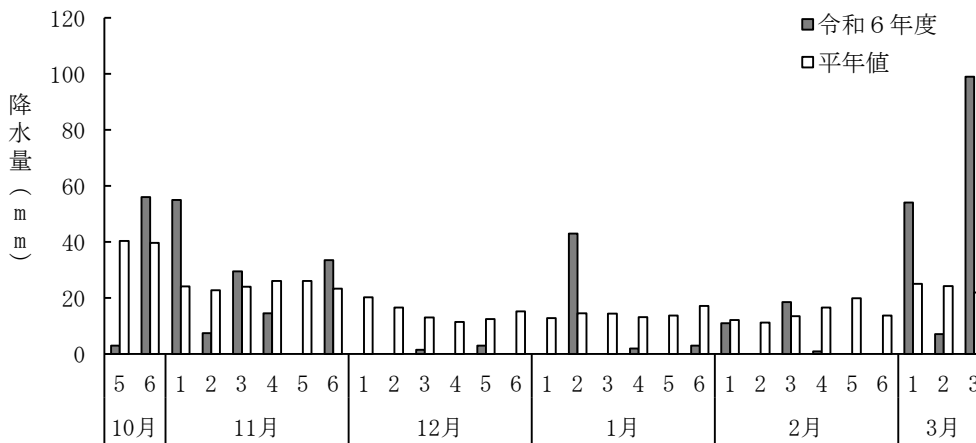


図2 栽培期間中の半旬別積算降水量(館山観測所アメダスデータ)

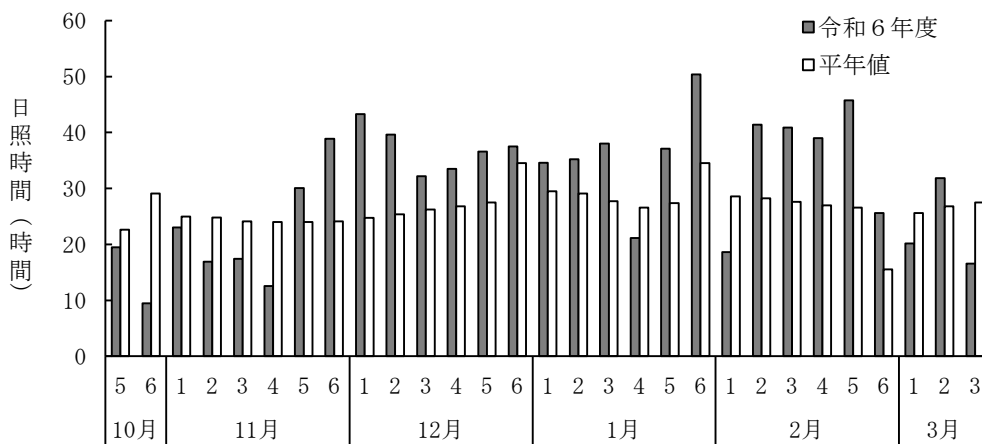


図3 栽培期間中の半旬別積算日照時間 (館山観測所アメダスデータ)

表1 第72回千葉県野菜品種審査会 (レタスの部) 結果

順位	出品番号	品種名	種苗会社名	得点		
				立毛	収穫物	合計
1	1	L20T304	住化農業資材 (株)	80.7	167.8	248.5
2	9	L20T307	住化農業資材 (株)	80.4	167.0	247.4
3	4	Fブロウ	タキイ種苗 (株)	78.9	158.9	237.8

- 注1) 審査は館山市佐野の館山市清浄そ菜組合員圃場にて、令和7年3月14日に行った審査員17名で配点は立毛100点、収穫物200点の合計300点として審査した
- 2) 令和6年10月24日に培養土「たね培土N150」を充填した128穴セルトレイに1粒播きしたハウス内で育苗した後、11月17日に苗を露地へ移動し、12月1日に「くみあい尿素硝安有機入り複合液肥683」(6-8-8)の500倍希釈液を灌注した
- 3) 12月5日に畝幅160cm、通路幅20cm、条間28cm、株間35cmの4条千鳥で定植し、ベタロンDT-550(幅210cm、開口率約45%)で被覆した
べたがけ被覆は3月13日に除去した
- 4) 12月24日に菌核病罹病株を抜き取り、補植した
- 5) 1区48株、7.56m²、2反復、施肥分量は10a当たり窒素24kg、リン酸20kg、加里16kg

表2 セルトレイでの出芽率

出品番号	出芽率 (%)		
	平均	反復	
		I	II
1	89	88	91
2	100	100	100
3	98	98	99
4	97	97	97
5	97	98	97
6	99	99	99
7	99	98	99
8	99	99	98
9	98	99	97
10	98	98	99
11	98	97	98
12	96	93	98
対照	99	100	98

- 注1) 令和6年10月24日播種、11月8日調査
- 2) 1区128粒、2反復調査
培養土「たね培土N150」を充填した128穴セルトレイに1粒播きした

表3 収穫時の結球の形状

順位	出品 番号	品種名	調製重 (g)	長径 (cm)	短径 (cm)	球径 (cm)	球高 (cm)	球径比	球高比	緊度 (g/cm ³)
1	1	L20T304	779	16.9	14.8	15.9	14.3	0.88	0.91	0.41
2	9	L20T307	645	16.4	14.8	15.6	14.4	0.91	0.92	0.35
3	4	Fブロウ	606	16.3	14.3	15.3	13.3	0.88	0.87	0.38
	2	-	520	15.2	13.4	14.3	12.6	0.89	0.88	0.39
	3	-	520	14.5	12.6	13.6	12.5	0.87	0.92	0.44
	5	-	521	14.3	12.6	13.4	11.7	0.88	0.88	0.47
	6	-	664	15.7	13.8	14.7	13.6	0.88	0.93	0.43
	7	-	609	15.4	13.5	14.5	13.6	0.87	0.94	0.41
	8	-	608	15.3	13.2	14.3	13.1	0.87	0.92	0.44
	10	-	465	13.7	12.0	12.9	12.5	0.88	0.97	0.43
	11	-	513	14.7	12.9	13.8	12.4	0.88	0.90	0.41
	12	-	589	15.2	13.7	14.4	13.4	0.90	0.93	0.41

注1) 令和7年3月14日に中庸な8株を測定した、2反復の平均値

2) 球径は長径と短径の平均値、球径比は短径の長径に対する比、球高比は球高の球径に対する比を示す

3) 緊度は次式により求めた

$$\text{緊度 (g/cm}^3\text{)} = \text{結球重 (g)} / \text{結球体積 (cm}^3\text{)}$$

$$\text{但し、結球体積 (cm}^3\text{)} = 4/3 \pi \times (\text{球径 (cm)} / 2)^2 \times \text{球高 (cm)} / 2$$

4) 調製重は外葉4枚を残した状態で測定した

5) 業務用では1玉600~800gで緊度0.2~0.3g/cm³の玉、家庭消費用では1玉350~600gの玉が求められる



写真1 1位「L20T304」(住化農業資材(株))の立毛及び収穫物

[発表及び関連文献]

令和7年度試験研究成果発表会(野菜部門)

[その他]